

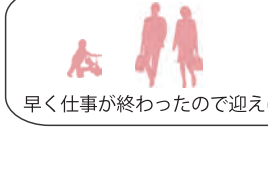
城址公園



城下町は主を守る都市構造

現代版城下町
城址を福井の未来を担う子供や支援すべき高齢者を守る場と位置づける。歴史的にも価値が高い城址をより自然に近いカタチで残し、その空間の意味、質を継承していく。

城址で生まれる新しい人間関係
他世代の交流によって、これまでになかった新しい人間関係が生まれる。



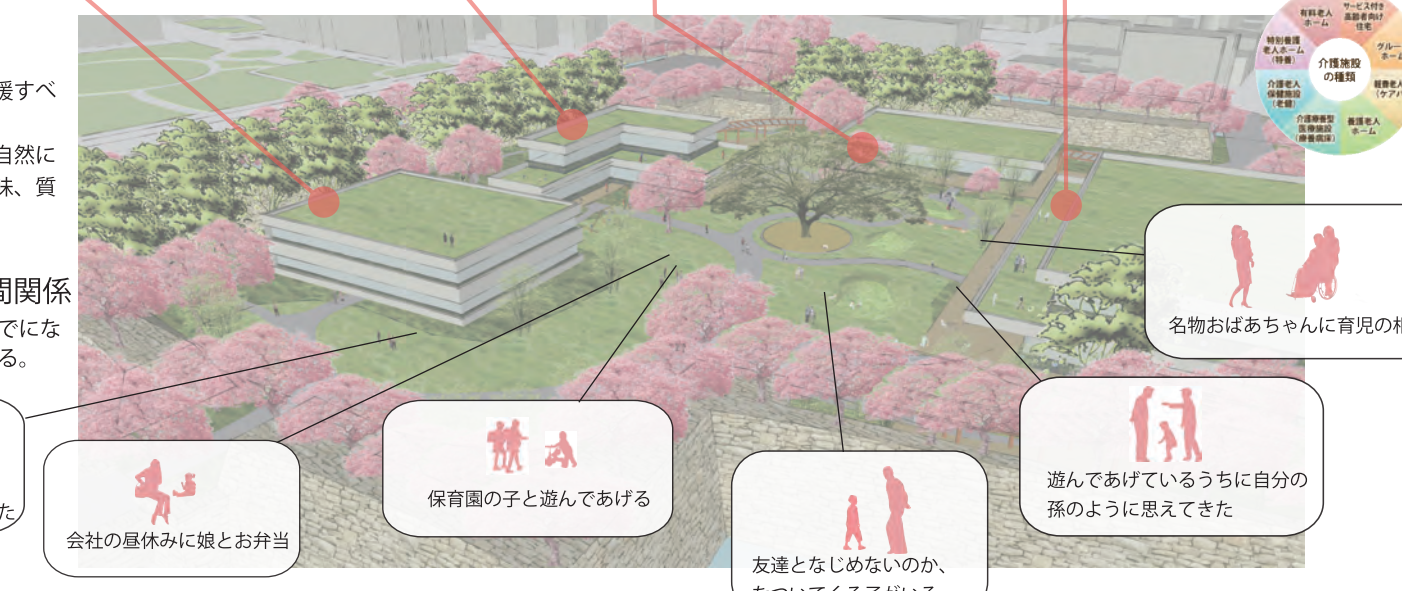
早く仕事が終わったので迎えにきた

福の井ホール
まちづくり福井(株)の事務所が入っており、城址公園全体のマネジメントを行う。小さなホールが備わっており、近くの保育園や小学校の児童の発表会などで使われる。

福の井保育園
まちなかに子どもがのびのび遊べる場所をつくる。駅の近くで働いているお母さんも保育園に通っている子どもとお昼を食べる事が出来る。子どもの親は、働きつつ少しでも長く子どもと過ごせるようになる。

福の井食堂
保育園の園児や福の井ハウスの高齢者がお昼を食べにくる。食堂を介して二つの施設がつながる。

福の井ハウス (サービス付き高齢者向け住宅)
今後増大する高齢者に対してセーフティネットをまちの中心部、城址に設ける。在宅でのケアや介護ができなくなった場合、現在の日本の社会では裕福でなく身寄りのない高齢者の生活を維持するのは難しい。そういった境遇の高齢者の受け皿を城址というまちなかの場に用意する事で、社会とかわりを持ちながら人間らしく生きることが出来る。



名物おばあちゃんに育児の相談
遊んであげているうちに自分の孫のように思えてきた
友達となじめないのが、なついてくる子がいる
保育園の子と遊んであげる
友達が遊びに来たのでお昼を食べる

今度、お堀の灯りのイベントの時に順化小学校で戦争の時の記憶を話してきてくれたおばあちゃん
休日に、福の井保育園と福の井ハウスで餅つきをしたのだけど、作りすぎちゃった。城址に遊びに来た子どもたちも食べるから。
リハビリもかねて福の井ハウスの裏に畑を作ったら、保育園の子どもたちが遊びにくるようになってね。せっかくなので花壇の手入れも始めたよ。

アクティブシニアが城址公園の清掃・管理をボランティアで手伝う子どもと高齢者が積極的に交流するようになる

城址を眺めるほっとスポット

城址公園の玄関口
城址公園へとつながる玄関口として、コミュニティバスのバス停や横断歩道を整備し、城址公園へのアクセスを高める。



歴史と緑をつなぐ城址の玄関口をつくる

緑、歴史のつながり
近接する歴史のみちや緑のシンボル軸と城址公園の結節点とする。都市の中で緑や歴史を感じられる空間をつなげていく。



城址と緑・歴史のつながりをつくる



城址玄関でバスを降り、御本城橋を渡って城址公園に向かう。堀の景色が目に入ってくる。

あつたまりから城址への眺めの確保
気付いたら会社の前に広場ができてる。お堀も見えて、気持ちいいなあ。

まちなかで一休みする
よく見かける人と会話を交わす
夢アトが開催される

企業局前の企業交流拠点

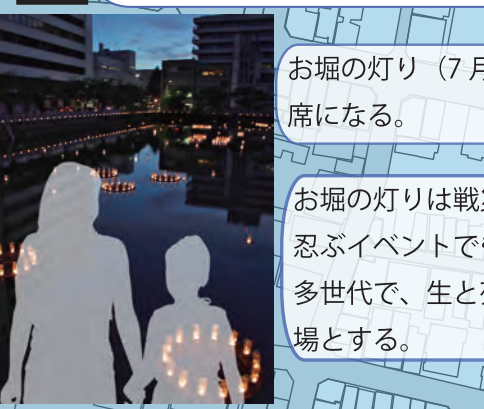
企業交流の場。情報、人が交わる事で新しい製品、ビジネスが生まれる。あつたまりは商談などにも使われ、産業見本市などのイベントの拠点となる。



見本市イメージ

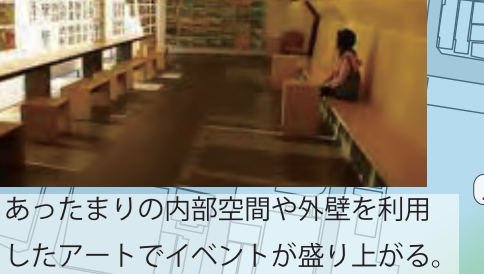
水辺を楽しむほっとスポット

お堀の灯り(7月)の特等席になる。お堀の灯りは戦災、震災を忍ぶイベントでもある。多世代で、生と死を考える場とする。



福井ゆめアート(10月)

あつたまりの内部空間や外壁を利用したアートでイベントが盛り上がる。



通り沿いにあつたまりが見える

片町界隈

水辺を楽しむほっとスポット

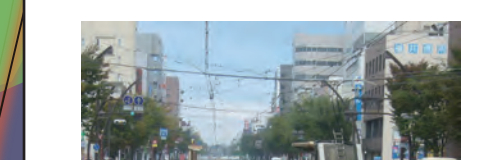
福井ゆめアート(10月)

あつたまりの内部空間や外壁を利用したアートでイベントが盛り上がる。

通り沿いにあつたまりが見える

水辺を楽しむほっとスポット

お堀の灯り(7月)の特等席になる。お堀の灯りは戦災、震災を忍ぶイベントでもある。多世代で、生と死を考える場とする。



お、久しぶりじゃん！元気してた？

あつたまりの種

歴史を感じるほっとスポット

歴史の道や愛宕坂周辺など、その地区の歴史を継承するようなあつたまりを整備



落ち着いた雰囲気のあるあつたまりデート

家の勝手口から出てあつたまりへ

職場の窓から城址で遊んでいる息子が見える

城址に来るいろいろな人と出会う

買物帰りに一休み

城址の玄関が見える

城址の玄関が見える

駅前商業エリア

駅前商業エリア

駅前商業エリア

駅前商業エリア

駅前商業エリア

駅前商業エリア

あつたまりの種

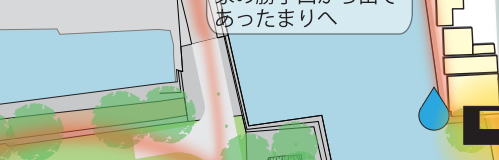
芽

花

実

街路の話① ゆっくりロード

時速10km以下に落として走行する道。車を閉め出すのではなくにぎわいの一部と考える。小型EVを積極的に活用し、様々な交通が許容されるみちにする。



小型EVイメージ

緑側のあつたまりに上がり込んでおしゃべり

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

EVポートで充電しつつ一休み

あつたまりの種

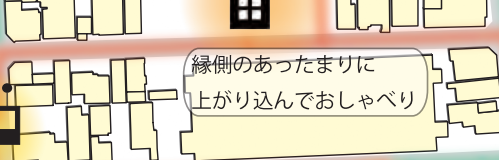
芽

花

実

街路の話② ほっとロード

ゆっくりロードの中で特にあつたまりをつなぐもの。人の活動が許容され、それを見て次のあつたまりが感じられる。歴史の道や緑のネットワークとつながる。



あつたまりの実

あつたまりの芽

あつたまりの種

ほっとロード

ゆっくりロード

公共施設

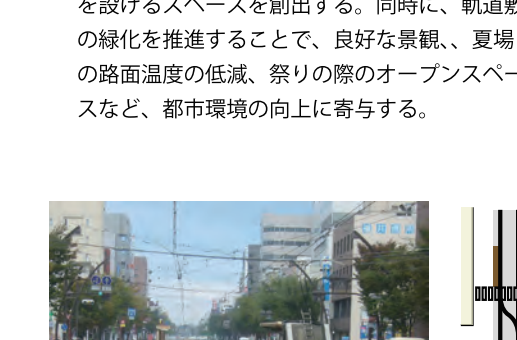
コミュニティバス

緊急車両

市役所前駅待合室

まちをつなぐ場所
福井鉄道の市役所前駅は、大手の業務地区と片町の商業地区の境界に位置し、フェニックスまつりでは駅周辺が踊りの舞台となるなど、まち歩きを牽引する。

上下線ホーム統一
現在離れているホームを鳥式1面とし、アクセスと乗り換えの煩雑さを改善しつつあつたまりを設けるスペースを創出する。同時に、軌道敷の緑化を推進することで、良好な景観、夏場の路面温度の低減、祭りの際のオープンスペースなど、都市環境の向上に寄与する。



ホームの現状

上下線ホームを統一した際の平面図

あ、こんなのできたんだ電車も便利になったなあ

あ、久しぶりじゃん！元気してた？

あつたまりの種

芽

共同中庭のある住宅地

歴史的な意味づけ
コモンスペースは会所地として城下町に存在している。現在の近所付き合いを見直し、住み方の面からコミュニティを考えていく。

日本版コレクティブハウス
コレクティブハウスとは、複数の世帯が共用部分を有して住むことで家事を効率化したりつながりを強くしたりするもの。多世代型や、高齢者が協力して暮らすシニア型などがある。あつたまりを介して過度な距離感で近所付き合い、互助共助のしくみを育てていく。



共同中庭には出張スーパーも訪れる。お母さんたちが情報交換をしたり、お年寄りが出かけるきっかけになったりする。

中庭を介して家がゆるやかにつながる。隣のおばあちゃんが緑側で休んでいるの見える。玄関前の雪かきは子どもも大人も皆で協力して行う。

リニアフリー住宅を誘致

中庭に面して緑側を持つ

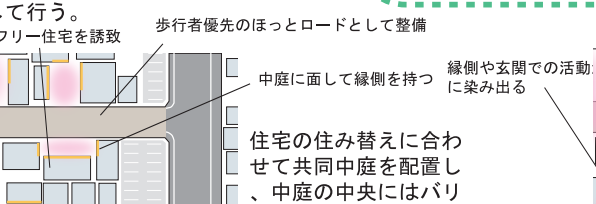
住宅地に虫食い上に存在する駐車場は街区の端に最小限の面積を確保する。

住宅の住み替えに合わせて共同中庭を配置し、中庭の中央にはリニアフリー住宅を誘致

共同中庭のある住宅地

歴史的な意味づけ
コモンスペースは会所地として城下町に存在している。現在の近所付き合いを見直し、住み方の面からコミュニティを考えていく。

日本版コレクティブハウス
コレクティブハウスとは、複数の世帯が共用部分を有して住むことで家事を効率化したりつながりを強くしたりするもの。多世代型や、高齢者が協力して暮らすシニア型などがある。あつたまりを介して過度な距離感で近所付き合い、互助共助のしくみを育てていく。



共同中庭には出張スーパーも訪れる。お母さんたちが情報交換をしたり、お年寄りが出かけるきっかけになったりする。

中庭を介して家がゆるやかにつながる。隣のおばあちゃんが緑側で休んでいるの見える。玄関前の雪かきは子どもも大人も皆で協力して行う。

リニアフリー住宅を誘致

中庭に面して緑側を持つ

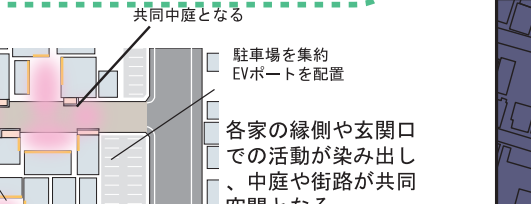
住宅の住み替えに合わせて共同中庭を配置し、中庭の中央にはリニアフリー住宅を誘致

住宅の住み替えに合わせて共同中庭を配置し、中庭の中央にはリニアフリー住宅を誘致

共同中庭のある住宅地

歴史的な意味づけ
コモンスペースは会所地として城下町に存在している。現在の近所付き合いを見直し、住み方の面からコミュニティを考えていく。

日本版コレクティブハウス
コレクティブハウスとは、複数の世帯が共用部分を有して住むことで家事を効率化したりつながりを強くしたりするもの。多世代型や、高齢者が協力して暮らすシニア型などがある。あつたまりを介して過度な距離感で近所付き合い、互助共助のしくみを育てていく。



共同中庭には出張スーパーも訪れる。お母さんたちが情報交換をしたり、お年寄りが出かけるきっかけになったりする。

中庭を介して家がゆるやかにつながる。隣のおばあちゃんが緑側で休んでいるの見える。玄関前の雪かきは子どもも大人も皆で協力して行う。

リニアフリー住宅を誘致

中庭に面して緑側を持つ

住宅の住み替えに合わせて共同中庭を配置し、中庭の中央にはリニアフリー住宅を誘致

住宅の住み替えに合わせて共同中庭を配置し、中庭の中央にはリニアフリー住宅を誘致

あつたまりの種

芽

花

実

毎朝の挨拶や近所付き合いが生まれる

雪かきを協力して行う

町内会のイベントを開く

住民が中庭に面して家を建て始める